

5. 26～27 現地闘争を闘う仲間へのメッセージ

伊勢志摩サミットに反対する実行委員会

現地闘争に起ち上がられた皆さんに、東京の伊勢志摩サミットに反対する実行委員会から、5月22日東京で伊勢志摩サミット反対！新宿デモを闘った参加者全員の賛同により、熱い連帯の挨拶を送ります。

今回のサミットは、G7大国による戦争拡大サミットであり、日本の軍事デビュー・サミットです。その刃が、「対テロ」厳戒態勢として国内の民衆にも向けられていることは、すでに関西の仲間に対する5.19予防弾圧で露わになりました。貧困と差別の新自由主義を更に推進するものであることは言うまでもありません。このような危険なサミットには反対の声を上げていかねばなりません。

この伊勢志摩サミットは、沖縄の更なる軍事要塞化、辺野古新基地建設を促すものでもあります。しかし沖縄はいま、基地が存在する故の痛ましい事件に再々度直面し、深い悲しみの中から全基地撤去の声を強めています。沖縄の高まる怒りを受け止め、連帯し、サミット反対・安倍政権打倒の闘いを前進させていかねばなりません。

私たちは、5月8日の集会を160名の仲間勝ち取り、5月22日、東京・新宿において250名によるデモを行い、サミット反対！戦争反対！の声を繁華街に響かせ、沖縄との連帯を訴えました。24日に強行制定される盗聴・冤罪拡大、密告奨励・団結解体法糾弾！の声も挙げました。反戦・反基地・沖縄連帯・治安法反対のそれぞれの闘う流れが、サミット反対！「対テロ戦争」反対！で合流したという意味では、画期的な闘いを勝ち取り得たと思います。

伊勢志摩の現地闘争には、新宿デモを共に闘った仲間たちも決起しています。歴史の分岐点と言われるこの局面において、支配者たちが唱える道とは異なるもう一つの道を、体を張って指し示し、切り拓いていくことがいつにもまして重要になっています。

現地闘争に決起された仲間の皆さん！伊勢志摩サミット反対の声を現地に響かせ、サミット厳戒態勢の空気を吹き飛ばして下さい。共に闘いましょう。

2016年5月26日